

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	神崎市立仁比山小学校 児童数 215 人	担当者名	中島 里佳・菱岡 智美
住所	郵便番号 842-0107 佐賀県神崎市神崎町鶴 1634 番地	電話番号	0952-52-2504

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	ぼっかぼか図書館 本は友だち たくさん読もう
	取組期間	令和5年 4月7日 ~ 令和5年 11月30日

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

取組人数	226 人	実施日数	244 日	読書冊数	45166 冊	連携した団体数	1 団体
評価	取組内容（概要）	<p>本校図書館は、図書館担当教員、司書補、図書委員 10 名で運営を行っている。貸し出し目標冊数は、児童 1 人あたり 160 冊である。4 月からの取組については、以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の児童集会では、図書委員が選んだおすすめの本の紹介を行った。また、図書館での過ごし方や校長先生の好きだった本、日本十進分類などを〇×クイズ形式で出し、「図書館に親しんでもらうため」のイベントもした。 ・6月と10月の2回図書館祭りをを行い、様々なイベントを開催した。名称を「ぼっかぼか図書館まつり」と変え、児童に定着してきた。また、図書館まつりの期間に合わせて6月に「ファミリー読書」、10月に「読書がんばり週間」を設定し、家庭での読書を奨励した。 ・地域の読み語りボランティア団体「すぎの子文庫」と連携し、本校図書館には「すぎの子文庫コーナー」を設置したり、読み聞かせをしていただいたりした。4月に全校児童に向けたオリエンテーション、7月に1年生向けのお話を「すぎの子文庫」主催で行っていただいた。また、毎週月曜の朝の時間、各学年（主に1～4年生）の教室に絵本の読み聞かせに来てもらっている。 ・学年に応じて、読んでほしい本「おすすめの本50選」を設定している。今年度からは1・2年は50冊、3・4年は40冊、5・6年は30冊と目標数を決めて取り組んだ。 					
	工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、2冊の貸し出しとしているが、多くの図書に親しませるため、週末や授業中の貸し出し、雨の日などは、3冊貸し出しとした。 ・一定の貸し出し冊数に達したときには、「予約券」や「3冊貸し出し券」等をプレゼントし、児童が達成感を持てるようにした。分かりやすいように、個人の「読書の記録」には10冊～50冊単位でスタンプがもらえ、子供たちも喜んでスタンプラリーをしている。 					

		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館祭りでは、図書委員を中心に「絵本の読み聞かせ」「スリーヒントクイズ」「図書館クイズ」「季節の工作」「しおりコンテスト」等いろいろな事に取り組んだ。(内容も図書委員で積極的に考えていた。) ・毎月発行する「図書館便り」で新刊図書を紹介し、さらに、図書館に新刊コーナーを設け、児童に「読んでみたい」という意欲がわくようにした。(こちらも“ぽっかぽか図書館だより”としている。) <p>その他に「ひみつシリーズ」や「平和人権の本」、「読書感想文課題図書コーナー」などに分けることで、低学年でも早い段階から返却がスムーズに出来るよう配架の工夫もしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、各教室の環境としては、個人の机の横に図書バッグを掲げ、ちょっとした隙間の時間にでも読書ができるようにしている。本を借りに行くときも大変スムーズである。 <p>・年度末には、年間貸し出し目標数 160 冊とおすすめの本の学年冊数クリアをしたら「仁比山小読書マイスター」の賞状がもらえる。</p>
	取り組んだ感想	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が毎日図書館に足を運び、楽しみながら読書をしている姿が多く見られ、取り組んでよかったと思った。本が好きな児童が多く、学校生活と図書が密接しているといっても過言ではないと思う。また、「ファミリー読書」を行った際には、保護者の方から「久しぶりに一緒に読んで楽しかった」等のコメントをもらい、読書が家庭に広がっていく喜びを感じた。時々児童からも「これを読みたいと言われた。」などの会話も聞かれ、読書が保護者にも浸透出来たらよいと願っている。
	これまでの取組や今後の取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝読書」の習慣が定着し、ほとんどの児童は、毎朝登校後は朝読書を行っている。しかし、教師に促されないで読書を始められない児童もおり、声かけの工夫等をしていきたいと思う。 ・毎年、年度末に図書委員が取り組んでいる「図書館新聞」作成を今年度も行う。内容は、「歴史の本で人気の本」「図書館の約束」等を予定している。最後に本校は神崎市の中でも貸し出し数も多く、「読書の習慣」が日頃よりしっかりと身につけているからだと思う。この良い習慣を継続できるよう、今後も楽しい図書館にしていきたいと思う。

※本報告書は簡潔に記述し、**A4 サイズ 2 頁以内**とし、**取組内容が分かる資料**（写真、イラスト、取組前後の比較データ等）を **A4 サイズ 3 頁以内**にまとめて、添付してください。
報告書・資料の様式は PDF を基本とし、他形式も可（復号化必要）としますが、一度にメール添付できる容量は **5 MB まで**ですので、これを超える場合は写真の解像度を落とす等の工夫をし、必要に応じ圧縮、分割送付などの処理をお願いします。
 ※県のホームページに掲載しますので、写真等は、「個人が特定できないもの」または「本人の了承を得ているもの」でお願いします。

Ⅲ.応募する【提出期限：令和5年12月13日（水）】

実践報告書は、データ（PDF 版）で佐賀県まなび課まで電子メールにより送信してください。

【図書館祭り】



図書委員による大型絵本の読み語り (6月)

図書委員は大型絵本をめくるのに悪戦苦闘。みんなで協力しながら読むことができました。10月は、自分たちのおすすめの絵本を選び2人ペアを組んで読み語りをしました。



パンプキンの形のお菓子入れをハロウィンに合わせて作りました。昨年はハロウィンのタペストリーだったので、今年は実用的なものにしましたが、大変好評でした。図書委員さんが低学年に教えてくれる姿が微笑ましかったです。

【すぎの子文庫コーナー】



児童が借りたい時には、ファイルに借りた日、返した日を記入すれば、いつでも貸し出しができるようにしています。



「文庫」を図書館の中に置くことで、読み語り団体との連携を図っています。児童も図書館の本との区別をし、丁寧に扱うことができます。